# Web設定画面へのログイン

- 1. 本製品とパソコンを有線(LANケーブル)もしくは無線で接続します。
- 2. Webブラウザ(Internet Explorer、Firefox、Safari、Chromeなど)を起動し、 192.168.0.1を入力し[Enter]キーを押す。



3. ユーザー名、パスワードを入力し[OK]ボタンを押す。 入力するユーザー名とパスワードは、本製品に貼付されているラベル記載の Login/passwordを確認ください。 ※お客様にてユーザー名とパスワードを設定された場合は設定内容が反映されています。



4. ログインに成功すると以下の画面さ表示されます。



基本設定	基本設定
ネットワーク設定	DHCPV4 势定
ローカルLANのIPアドレスの設定と、WAN(上位)ネットワークの設定を行います。	
I つがしたはめルウイ じくのみなととて いれば上 ビルドウイ ジ うびみなとと につ は ひ っ         ネットワーク コンフィグ         LAN         IPv67ドレスLAN       取得情報なし         IPv67ドレス       192.168.0.1         MACアドレス       00:02:00:de:ad:05         インターフェース/ブリフィックス       未取得         WAN       IPv67ドレス       fe80:202:ff:fea0:e017/64       2         IPv47ドレス       202:232:130.60       2         MACアドレス       00:02:00:a0:e0:17       3         IPv47ドレス       00:02:00:a0:e0:17       3         IPv4 DNSサーバ       7.1       3         IPv4 DNSサーバ       7.1       3	LAN側のIPv4 DHCPサーバの設定を行います。 DHCPサーバ機能 • 有効 ○ 無効 開始アドレス 192.168.0.10 接続可能な端末の数 245 リースタイム 3600 適用 DHCPクライアント情報 MACTFLス PTFLス サブネットマスク サース時間 サース期限 選択 0024a5d5f53c 192.168.000.010 255.255.255.000 D:00 H:01 M:00 S:00 Fri Oct 18 11:52:13 2013 C 現在のシステム時刻: Fri Oct 18 11:09:43 2013 強制解除
WAN IPアドレス取得方法 DHCP ・ IPv4 MTUサイズ 0 (256-1500間での設定, 0 = 基本値) 仮想MACアドレス 00:00:00:00:00:00 適用 加入しているケーブル局がIPv4対応の場合表示されます。	DHCPサーバ機能 :DHCPサーバ機能をボタン ・有効 〇無効 で設定します 初期設定では【有効】となっています。
	開始アドレス:端末に割り当てる範囲の最初のIPアドレスを入力します。
J朔値 192.106.0.1 (本製品に貼りのシールに記載)変更が可能ですが、他の SIDで予約されていて使用できない値を入力した場合はエラーが表示されます。	接続可能な端末の数:本機に同時に接続できる端末の数を設定します。
・位ネットワークから割り当てられたIPv4アドレスが表示されます。	リースタイム : DHCPサーバ機能で割り当てるIPアドレスの有効期限を 分単位で入力します。
V4アトレスのリース時間とリース使用期限が表示されます。 v4のDNSサーバのアドレスが表示されます。	DHCPクライアント情報:IPアドレスの払い出し情報を確認する事ができます。 端末のリース情報を削除する場合は、削除したい行る 選択し、ごは制度の全人を押します。
加入しているケーブル局がIPvG対応の場合表示されます。	選択し「独的所称」を押します。
AN側のIPv6のリンクローカルアドレスとDHCP-PDで取得したIPv6アドレスの レフィックス部分が表示されます。	
:位ネットワークと通信するためのIPv6リンクローカスアドレスが表示されます。	
v6のDNSサーバのアドレスが表示されます。	
MACアドレス :本機のLAN側のMACアドレスが表示されます。	
N MACアドレス:本機のWAN側(上位との通信用)のMACアドレスが表示されます。	
N IPアドレス取得方法:通常は【DHCP】のままでご使用ください。	
MTIIサイズ : MTIIサイズを指定します。	

設定が完了したら 適用 を押してください。

- を

# 基本設定

LAN側V6ステータス

LAN側のIPv6に関連する情報を表示します。

ステートレスアドレスの自動設定

# IPアドレス MACアドレス 外部からのアクセス状態

基本設定	Ê				
DDNS設定	Ē				
ダイナミック	DNSサービスの	つ設定を行い	います。		
DDNSサービス ユーザー名 バスワード ホスト名 IPアドレス ステータス	、 無効 202.232.130 DDNSサービ   	▼ 0.60 ぶえが有効に 用	されていませ	tho	

## 本製品に接続された端末のIPv6情報が表示されます。

端末に割り当てられたIPv6アドレス、IPv6アドレスを取得した端末の MACアドレスが確認できます。

注意:本ページに情報が表示されるのは本製品が、上位からIPv6アド レスを取得した場合のみとなります。

DDNSサービス : DDNSサービス機能を有効にするか無効にするかを設定します。 初期設定では【無効】となっています。

サービスを開始す	tるには DDNSサービス www.Dyn	DNS.org 🗾 を選択し、
ユーザー名 [	バスワード	
にDDNSサービス	で登録した情報を入力し、 適用	を押します。
IPアドレスとスラ	ータス情報が表示されます。	

基本設定
バックアップ設定
設定情報のバックア
参照… ファイルが選択さ

行います。

本製品の設定情報のバックアップ方法

- 1. バックアップ ボタンを押します。





GatewaySettings.binのファイル名で保存されます。保存先は使用するブラウザに よって異なりますので、ご自身で確認ください。

# 本製品の設定情報の復元方法



2. GatewaySettings.binファイルを選択し、 復元 ボタンを押します。

?ップ、バックアップした設定を復元します。

れていません。 復元 バックアップ

本製品に設定した情報のバックアップを行ったり、バックアップした情報の復元を

2. 下記の画面が表示されたら【OK】ボタンを押す。

3. 表示されたダイアログボックスの【保存】ボタンを押す。

				×
tta	は保存しますか?			
Gi	atewaySettingsbin			
: Vi	rtual CloneDrive, 158	з кв		
- 19	92.168.0.1			
		保存( <u>S</u> )		
のフォレー	ッイルは役に立ちますが、 ります。発信元が言頼で だざい。 <u>危険性の説明</u>	ファイルによって きない場合は、	〔はコンピューター(に問題 このファイルを閉いたり)	保

1. 参照 ボタンを押し、バックアップで保存したファイルを選択してください。

ログイン設定				
WEB設定画面のログィ	ンIDパスワード	を設定及びモデ	ムの動作モードの変	更を行います。
変更するユーザーID				
新しいバスワード				
新しいバスワード(再入力	2)			
現在のバスワード	i i			
動作モード ロブリッジモ	ード ・ルーダ	モード		
適用	1			
	-			

基本設定				
工場出荷時設定				
設定情報の全てを工	場出荷時状態へ戻 <u>適用</u>	しますか C有効	€無効	

ログイン設定(ユーザーID・パスワード)の設定を行います。

- 変更するユーザーID:変更するユーザーIDを入力します。
- 2.新しいパスワード :変更するユーザーIDの新しいパスワードを入力します。
- 3.新しいパスワード(再入力):入力ミス防止のため、再度同じものを入力します。
- 4. 適用 ボタンを押すと新しいパスワードに変更されます。

本製品を工場出荷時(初期化)の設定に戻します。

初期化をすると本製品の設定内容がすべて消去されます。初期化する前に 設定情報のバックアップをするか、必要な情報をメモなどに控える事を お勧めします。

- 1.設定情報のすべてを工場出荷状態へ戻しますか<sup>10</sup>有効 0 無効 を選択。
- 2. 表示されたダイアログボックスの【OK】ボタンを押す。

Web べー	うからのメッ	セージ	
?	工場出荷	時へ戻ります。モデムが	再起動します。

3. 適用 ボタンを押すと、本製品が再起動し工場出荷状態に戻ります。

ハードウェアでの工場出荷時(初期化)の設定

お客様自身で設定されたパスワードを忘れてしまった場合、何らかの原因で 設定用Web画面にログインできなくなった場合は以下の手順で初期化をする 事ができます。

- 1. 本製品が正常にオンラインになっている事を確認する。 オンライン状態の確認は本製品に同梱されている取扱説明書【LEDランプの 表示について】をご参照ください。
- 2. 本製品背面の【RESET】ボタンをつまようじなどで押し続けててください。



- 3. すべてのLEDランプがいったん消灯し、再度点滅し始めれば初期化の完了です。
- 注意:本製品の初期化を行うと、再設定が必要となりますので設定内容を事前に 控えておくなどしてください。

ルータ詳細設定		
オプション設定		
ゲートウェイ詳細情報の設定を行います。		
AN側からPING応答ブロック	☑ 有効	_
secパススルー	口有効	
PTPバススルー	口有効	
隔操作	口有効	
ルチキャスト通過	☑ 有効	
PnP有効化	☑ 有効	
_ 適用 _		
「ーススールMACアドレス(設定例: 01:23:45:67:89:AB	)	
MACアドレス追加		
*		
☑ アドレスエントリ数: 0/32		
MACアドレス削除 全て削除		

ルータ詳細設定	
オプション設定	
ゲートウェイ詳細情報の設定を行います。	
AN側からPING応答ブロック	☑ 有効
Psecパススルー	口有効
PTPパススルー	口有効
<b>逐</b> 隔操作	口有効
パルチキャスト通過	☑ 有効
PnP有効化	☑ 有効
適用	
ペーススールMACアドレス(設定例: 01:23:45:67:89:AB)	
MACアドレス追加	
×	
三 アドレスエントリ数: 0/32	
MACアドレス削除 全て削除	

WAN側からのPING応答ブロック

IPsecパススルー

PPTPパススルー

マルチキャスト通過

UPnP有効化

パススルーMACアドレスの設定

設定したMACアドレスの削除

押してください。

:WAN側からのPINGに応答させたい場合はチェックをはずしてください。 初期設定は【有効】(PING応答しない)になっています。

- : VPNで利用される暗号化通信を通過させるか指定します 初期設定は【無効】となっています。
- : VPNで利用される暗号化通信を通過させるか指定します。 初期設定は【無効】となっています。
- :マルチキャストを通すかの設定をします。 初期設定は【有効】(マルチキャストを通す)となっています。
- :UPnP機能を使用するかの指定をします。 初期設定は【有効】となっています。 本機能を無効にすると一部のアプリケーションで通信が制限されたり 動作しなくなったりする事があります。
- :パススルーさせたい機器のMACアドレスを入力し MACアドレス追加 を 押してください。最大で32アドレスまで設定可能です。
- 00:00:00:00:11:11 :<u>削除したいMACアドレ</u>スの行を<sup>00:00:00:00:11:12</sup> 選択して MACアドレス削除を押してください。
- すべてのMACアドレスを削除する場合は行を選択せずに 全て削除 を

ルータ詳	細設定		
IPフィルタ!	レグ設定		
LAN側の端末	に対する不要な	・ラフィッ	クをIPアドレスでフィルタリングします。
IPフ	ィルタリング		
開始アドレス	終了アドレス	有効	
192.168.0.0	<b>192.168.0</b> .0		
192.168.0.0	<b>192.168.0</b> .0		
192.168.0.0	192.168.0.0		
<b>192.168.0</b> .0	192.168.0.0		
192.168.0.0	192.168.0.0		
192.168.0.0	192.168.0.0		
<b>192.168.0</b> .0	192.168.0.0		
	適用		

ルータ詳細設定	ルー	タ詳細語
MACフィルタリング設定	ポー	トフィルタ言
LAN側の端末に対する不良なトラフィックをMACアドレスでフィルタリングを行います。	LAN	肌の端末に対
MACアドレス (設定例: 01:23:45:67:89:AB) MACアドレス追加	開始ボ 1 1	ボートフィル ート 終了ボー 65535 65535
	1	65535
✓ アドレスエントリ数: 0/20	1	65535
MACアドレス削除         全て削除	1	65535 65535
	1	65535

指定したLAN側のIPアドレスからのトラフィックをブロックする設定です。

ブロックしたいLAN側のIPアドレスを開始アドレスと終了アドレスで指定し、 ブロックする場合は 🗹 有効 にチェックを入れ 適用 を押してください。 最大で10アドレスまで設定可能です。

指定したLAN側のMACアドレスからのトラフィックをブロックする設定です。

ブロックしたいMACアドレスの設定 :ブロックしたい機器のMACアドレスを入力し MACアドレス追加 を 押してください。最大で20アドレスまで設定可能です。

設定したMACアドレスの削除 00:00:00:00:11:11 :<u>削除したいMACアドレ</u>スの行を<sup>00:00:00:01:1112</sup> 選択して MACアドレス削除を押してください。

> すべてのMACアドレスを削除する場合は行を選択せずに 全て削除 を 押してください。

# 夕詳細設定

# トフィルタ設定

適用

りの端末に対する不良なトラフィックをポート番号でフィルタリングを行います。

種類	有効
両方 💌	
両方・	
両方 💌	
両方 💌	

指定したLAN側のポート番号からトラフィックをブロックする設定です。

ブロックしたい開始ポート番号と終了ポート番号を指定します。

トラフィックの種類【TCP】【UDP】【両方】を指定します。

ブロックする場合は【有効】にチェックを入れます。最大10まで設定可能です。

初期設定は【無効】(ブロックしない)になっています。

上記の設定項目の変更を行った場合は
適用
を押してください。

# ルータ詳細設定

## ポートフォワード設定

LAN側に設置されたWEBサーバ、メールサーバなどの特定のポート番号に対して、をインターネット側からの トラフィックをLAN側へフォワード(転送)する設定を行います。

	Application	Port
	HTTP	80
	TETP	69
Pv4生版 Pv6生版	SMTP	25
	POP3	110
	NNTP	119
コーカル	IRC	194
Pアドレス 開始ボート 終了ボート ポート 現状 有効 全削除	SNMP	161
	Finger	79
	Gopher	70
	Whois	43
	LDAP	389
	UUCP	540

WAN側から特定のポート番号宛てのトラフィックをLAN側に転送します。

転送先のLAN側のIPアドレスを指定します。

転送する開始ポート番号と終了ポート番号を指定します。

トラフィックの種類【TCP】【UDP】【両方】を指定します。

ブロックする場合は【有効】にチェックを入れます。最大10まで設定可能です。

上記の設定項目の変更を行った場合は必要に応じて Pv4生成 Pv6生成 いずれかのボタンを押してください。

ルータ詳細設定

ポートトリガー設定

ボートトリガー機能はアウトバウンドバケットボートをトリガーとして、インバウンドパケットの 指定ボート番号を一時的に開けるものです。LANをWANに対してステルスに保ったまま、 ボート番号のコントロールができます。

生成

トリガー範囲 ターゲット範囲 開始ポート 終了ポート 開始ポート 終了ポート 現状 有効 全削除

トリガーポートで指定したポート番号宛てのトラフィックをLAN側から受信すると 解放ポートで指定したポート番号宛てのトラフィックをWAN側からLAN側へ 解放します。このWAN側からのトラフィックはトリガーとなったLAN側の端末へ 転送します。

トリガーポート:LAN側のトリガーとなるポート番号を指定します。

解放ポート:トリガーを受けた際のWAN側からの解放するポート番号を指定します。

トラフィックの種類【TCP】【UDP】【両方】を指定します。

設定を有効にする場合は【有効】にチェックを入れます。最大10まで設定可能で

初期設定では無効(解放・転送はしない)になっています。

上記の設定項目の変更を行った場合は 生成 ボタンを押してください。

無線LAN詳細設定	
2.4GHz無線信号設定	
無線ネットワークの全般の設定を行います。	
ネットワーク名(SSID) MNG6200-E016-G 無線 有効 ・ 出力パワー 100% ・ 802.11 パンド: 2.4 Ghz 802.11 N-モード 自動 ・ 帯域幅 40 MHz ・ 現在の帯域幅: 40M ロントロールチャンネル側波帯(40 MHz使用時のみ) 上側 ・ 使用中の側波帯:下側 現在使用中のチャンネル 自動 ・ 使用中チャンネル: 1 * OBSS 0 (無効) ・	Hz J **干渉レベル: 使用可能
線LANで使用するネットワーク名(SSID)を設定します。 期設定では本製品に貼付されたラベルに記載されている【SSID】を研 第2P3300******* <sup>MNG6200-E000-G</sup> MNG6200-E000-A <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup> <sup>MNG6200-E000-A</sup>	毬認ください。 -G] -A]となっています。
線通信の[有効][無効]の設定を指定します。	
[線通信の[有効][無効]の設定を指定します。 ]期設定では[有効](無線通信可能)となっています。 <sup>  </sup> 「「「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」」「「」」」」	
線通信の[有効][無効]の設定を指定します。 期設定では[有効](無線通信可能)となっています。	
編通信の[有効][無効]の設定を指定します。 J期設定では[有効](無線通信可能)となっています。 前域幅 40 MHz ▼ 現在の帯域幅: 40 MHz 集用する帯域幅を設定します。 02.11b/g、802.11aでは20MH z の帯域幅のみが選択できます。 02.11 n の場合は40MH z の帯域幅を使用する事でより高速な通信が可能	能です。
編線通信の[有効][無効]の設定を指定します。 期設定では[有効](無線通信可能)となっています。 前域幅 40 MHz ▼ 現在の帯域幅: 40 MHz 第 用する帯域幅を設定します。 02.11b/g、802.11aでは20MH z の帯域幅のみが選択できます。 02.11 n の場合は40MH z の帯域幅を使用する事でより高速な通信が可す ]期設定は[40MH z]となっています。	能です。
<ul> <li>線通信の[有効][無効]の設定を指定します。</li> <li>期設定では[有効](無線通信可能)となっています。</li> <li>特域幅 40 MHz ▼ 現在の帯域幅: 40 MHz</li> <li>第月する帯域幅を設定します。</li> <li>2.11b/g、802.11aでは20MHzの帯域幅のみが選択できます。</li> <li>2.11b/g、802.11aでは20MHzの帯域幅を使用する事でより高速な通信が可能</li> <li>期設定は[40MHz]となっています。</li> <li>2.10 小日本(1000)</li> </ul>	能です。
編線通信の[有効][無効]の設定を指定します。   期設定では[有効](無線通信可能)となっています。   帯域幅 40 MHz ▼ 現在の帯域幅: 40 MHz   帯域幅 40 MHz ▼ 現在の帯域幅: 40 MHz   第市する帯域幅を設定します。   02.11b/g、802.11aでは20MHzの帯域幅のみが選択できます。   02.11b/g、802.11aでは20MHzの帯域幅を使用する事でより高速な通信が可能   期設定は[40MHz]となっています。   シトロールチャンネル側波帯(40 MHz使用時のみ) Fm ▼ 使用中の   02.11nで使用する帯域幅を40MHzに設定した場合において、隣接する   キャンネルのうちコントロールチャンネルとして上側・下側のどちらる   設定します。	能です。 <u>)側波帯:下側</u> る20MH z の を使用するか
<ul> <li>線通信の[有効][無効]の設定を指定します。</li> <li>期設定では[有効](無線通信可能)となっています。</li> <li>帯域幅 40 MHz ▼ 現在の帯域幅: 40 MHz</li> <li>帯域幅 40 MHz ▼ 現在の帯域幅: 40 MHz</li> <li>第する帯域幅を設定します。</li> <li>2.11b/g、802.11aでは20MHzの帯域幅のみが選択できます。</li> <li>2.11nの場合は40MHzの帯域幅を使用する事でより高速な通信が可い</li> <li>期設定は[40MHz]となっています。</li> <li>シトロールチャンネル側波帯(40 MHz使用時のみ) F回 ▼ 使用中の</li> <li>2.11nで使用する帯域幅を40MHzに設定した場合において、隣接する</li> <li>シャンネルのうちコントロールチャンネルとして上側・下側のどちらる</li> <li>定します。</li> <li>期設定は[上側]になっています。</li> </ul>	能です。 <u>)側波帯 : 下側</u> る20MH z の を使用するか
<ul> <li>編通信の[有効][無効]の設定を指定します。</li> <li>期設定では[有効](無線通信可能)となっています。</li> <li>帯域幅 40 MHz ▼ 現在の帯域幅: 40 MHz</li> <li>用する帯域幅を設定します。</li> <li>22.11b/g、802.11aでは20MHzの帯域幅のみが選択できます。</li> <li>22.11nの場合は40MHzの帯域幅を使用する事でより高速な通信が可能</li> <li>期設定は[40MHz]となっています。</li> <li>ントロールチャンネル御波帯(40 MHz使用時のみ) ● ● 使用中の</li> <li>シトロールチャンネル御波帯(40 MHzに設定した場合において、隣接する</li> <li>キンネルのうちコントロールチャンネルとして上側・下側のどちらきます。</li> <li>の期設定は[上側]になっています。</li> </ul>	能です。 <u>) 側波帯 : 下側</u> る20MH z の を使用するか
<ul> <li>編線通信の[有効][無効]の設定を指定します。</li> <li>期設定では[有効](無線通信可能)となっています。</li> <li>帯域幅 40 MHz ▼ 現在の帯域幅: 40 MHz</li> <li>第用する帯域幅を設定します。</li> <li>02.11b/g、802.11aでは20MH z の帯域幅のみが選択できます。</li> <li>02.11nの場合は40MH z の帯域幅を使用する事でより高速な通信が可)</li> <li>期設定は[40MH z]となっています。</li> <li>ントロールチャンネル側波帯(40 MHz 使用時のみ)   @ ▼ 使用中の</li> <li>02.11nで使用する帯域幅を40MH z に設定した場合において、隣接する</li> <li>キャンネルのうちコントロールチャンネルとして上側・下側のどちらを設定します。</li> <li>別期設定は[上側]になっています。</li> <li>対設定は[上側]になっています。</li> <li>注使用中のチャンネル 自動 ▼ 使用中チャンネル: 1 ***干渉しベル: 1</li> <li>採線通信可能)となっています。</li> </ul>	能です。 <u>創波帯 下側</u> る20MH z の を使用するか 使用可能 数状況に応じて
<ul> <li>編通信の[有効][無効]の設定を指定します。</li> <li>割設定では[有効](無線通信可能)となっています。</li> <li>割設定では[有効](無線通信可能)となっています。</li> <li>割する帯域幅を設定します。</li> <li>シ2.11b/g、802.11aでは20MHzの帯域幅のみが選択できます。</li> <li>シ2.11b/g、802.11aでは20MHzの帯域幅を使用する事でより高速な通信が可能</li> <li>割設定は[40MHz]となっています。</li> <li>シトロールチャンネル(個)波帯(40 MHz)を用時のみ) For 使用中の</li> <li>シスルのうちコントロールチャンネルとして上側・下側のどちらを認定します。</li> <li>割設定は[上側]になっています。</li> <li>(期設定は[上側]になっています。</li> <li>(期設定は[上側]になっています。</li> <li>(期設定は[上側]になっています。</li> <li>(期設定は[上側]になっています。</li> <li>(期設定は[上側]になっています。</li> <li>(期設定は[上側]になっています。</li> <li>(期設定は[上側]になっています。</li> <li>(期設定は[上側]になっています。</li> <li>(期設定は[上側]になっています。</li> <li>(期設定は[自動]となっています。</li> </ul>	能です。 <u>創波帯 下側</u> る20MH z の を使用するか 使用可能 数状況に応じて

設定内容を初期設定に戻す場合は初期設定に戻すを押してください。

無線LAN詳細設定	
プライマリWiFi設定	
プライマリ無線ネットワークの設定と、暗号化の設定を行います。	
MNG6200-E016-G (00:1C:7B:CF:9F:25)	
プライマリネットワーク 有効 💌	
ネットワーク名(SSID) MNG6200-E016-G	
SSID公開 公開 💌	
縣LAN端末間通信機能 通信許可 ⊻	
暗号モード WPA2-PSK	
WPA/WPA2暗号化方式 TKIP+AES -	
WPA 暗号化キー ●●●●●●●●●●	示
RADIUSサーバ 000.0	205
RADIUSボート 1812	
RADIUS=-	
グループキー交換問題の	
WPA/WPA2再認証間隔 3600	
ネットワークキーッ	
ネットワークキー 3	
ネットワークキー 4	
祖左侍田山のまー「」	
	•
ホート (法効) 適用 WPA	
WPA2 WPA/WPA2	
WERACTON WERACTON WERACTON	

線通信字の暗号化の認証方法を設定します。セキュリティレベルの高さは . WPA/WPA2(AES) 2. WPA/WPA2(TKIP)の順となります。 EPおよび無効についてはセキュリティを必要とされる通信を行う場合には 「用しない事をお勧めします。

]期設定知は【WPA2-PSK】となっています。

WPA/WPA2暗号化方式 TKIP+AES 🗾	
WPA 暗号化キー ●●●●●●●●●●	ロキー表示
	Ļ
WPA 暗号化キー  123123123	マキー表示

PA-PSK、WPA2-PSKで使用するWPA暗号化キーを設定します。キー表示に エックを入れると使用中の暗号化キーを確認する事ができます。 |期設定されている暗号化キーは本製品に貼付されているラベルのPassphrase 確認ください。



WPS Cor	nfig State: Con	figured	ł				
モデム本体  業をしてくだ	こあるWPSボタンを むい。	5秒以上打	甲し続けて	ください。 W	PS()LED(	が点滅中に引	子機の接続作
デバイフ	名 MNG620	00					
無線LA	Nアクセスァ	ドイン	トのPI	N⊐-	۲.		
UUID:bf	379516dd35	Bcc56	c39d1a	a79a62	e45b		
PIN 189	03966		PNJ	ド生成			
端末追加	10 追加						
端末PIN	1						
許可され	た端末MAG						
簡単接続(	WPS機能)						

PINコードをWPS端末に設定し接続する場合

# 節出技法(いのへ) 松松

初期設定値では【WPS機能有効】となっています。

: PIN 18903966 PINコード生成 を押すと新しいPINコードが 生成されます。このPINコードを端末に登録する事で接続できます。

### WPS対応端末のPINコードを本製品に登録する場合

:端末追加 追加 を押し 端末PIN にWPS端末の PINコードを入力します。

### 本製品プッシュボタン方式を使用し接続する場合

:WPS端末を操作し、端末側のWPSボタンを有効にします。1分以内に 本製品のWPSボタンを5秒以上押す事により接続ができます。

# MNG-6200のWEP認証での接続方法

本製品とWEP方式に対応している端末で接続をする場合は、本製品にWEPの 設定が必要となります。

- 1. Web設定画面にログインします。(本書のWeb設定画面へのログイン項目を参照)
- 2.下記画面が表示されたら<sup>無線LAN詳細設定</sup>を押す。

デムステータス	基本設定	ルータ詳細設定	無線LAN簡単設定	無線LAN詳細設定
ET&SYS	基本設	定		
ネットワーク設定	ネットワ	ーク設定		
DHCPV4設定	ローカルレ	ANのIPアドレスの設定	Eと、WAN(上位)ネット	トワークの設定を行います
DHCPV6サーバ設定	LAN			
			IPv6アドレスLAN	取得情報なし
AN側V6ステータス			IPv6プリフィックス:	::
DDNS設定			IPv4アドレス	192 . 168 . 0 . 1
CONCERCE			MACアドレス	00:02:00:de:ad:05
バックアップ設定	インターフェ	エース/プリフィックス		
			未取得	
ログイン設定	WAN			

3. 表示されたページ左側サブメニューの (12) (10) を押す。



4. 表示されたページの

セカンダリネットワークの有効化 有効 💌 1

暗号モート" WEP 📃 🙎

が選択されている事を確認し 適用 ボタンを押す ③

# 無線LAN詳細設定

### セカンダリWiFi設定

セカンダリ無線ネットワークの設定と、暗号化の設定を行います。



## 5.4までの作業で本製品の設定は完了です。表示された画面の

セカンダリネットワーク名(SSID) MNG6200-E000-G0

ネットワークキー 1 123456abcd

は、WEP認証で接続する無線機器を設定する際に必要ですので、メモを取るなど してください。

# ※ネットワークキーは必ず1でご使用ください。変更した場合は接続する端末側で 別途設定が必要となります。

### セカンダリWiFi設定

セカンダリ無線ネットワークの設定と、暗号化の設定を行います。



無線LAN詳細設	定						
アクセス制御設定							
無線LANネットワークへ打	妾続する端末を	MAC7H	シスで制ィ	卸する設定を	行います。		
無線インタフェース MNG62	200-E022-G (00:10	:7B:CF:9	F:1F) 💌				
MACアドレス制御有効化	無効 🗾	- 1		-			
MACアトレス   				-			
1				1			
Ì				7			
Į							
ļ				-			
l T				1			
	適用						
	100 M			The second state of the second	4-31-00	-	National Statements
無線接続端末情報 MAC	アドレス経	過(s) F	(SSI(dBm)	IP / LA	TALE	th	1述度(kbps)

無線L/	N詳細設定	Ê		
WMM設定	Ē			
無線LANマ	?ルティメディアの	QoSに関する設定	を行います。	
WMMサポー	▶ 自動 👤			
N₀-ACKモー	-ド 無効 ▼			
省電力モート	有効▼			
	Ħ			

# 無線LAN詳細設定

WiFi信号ブリッジ設定

無線リビータを接続するための、無線ブリッジ(WDS)設定を行います。

無線ブリッジ機能 無線リビータMACアドレス



本製品に接続する端末をMACアドレスで制御します。

初期設定では【無効】(制御しない)になっています。

通常では初期設定のままご使用ください。

WMM (WiFi MulitiMedia)のQOS (優先制御)をサポートさせるかの設定をします。

初期設定では【無効】となっています。

## 制御の有効化方法

MACアドレス制御有効化許可 🔽 を選択し、ブロックしたいMACアドレスを 01:23:45:67:89:ab のように入力し 適用 を押してください。

最大で20アドレスまで登録可能です。

無線リピータ接続方法

無線ブリッジ機能 有効 🖬 にする。 ください。

無効 🗾	
	(設定例:01:23:45:67:89:AB)
適用	

無線リピータを接続するための無線ブリッジ設定を行います。

無線リビータMACアドレス 01:23:45:67:89:AB のように入力し 適用 を押して